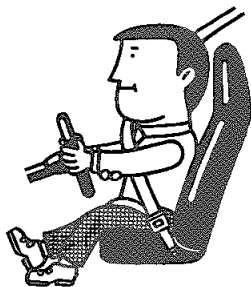
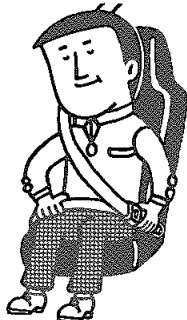


## 安全運転のために

★正しいドライビング・ポジションは急カーブや振動に対して身体がふらつかず、両手両足を敏速かつ、正確に動かせる姿勢です。  
また前後の視界が十分確保でき、長距離運転にも疲れない姿勢であることも大切です。(シートの調整の項目参照)

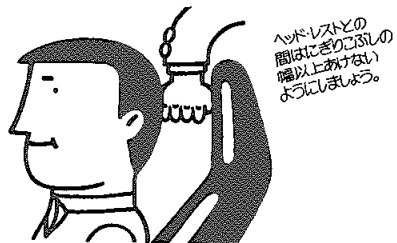


★シート・ベルトは必ず装着して運転しましょう。  
腰ベルトは腰骨の位置にぴったりと装着しましょう。  
(シート・ベルトを忘れずにの項目参照)

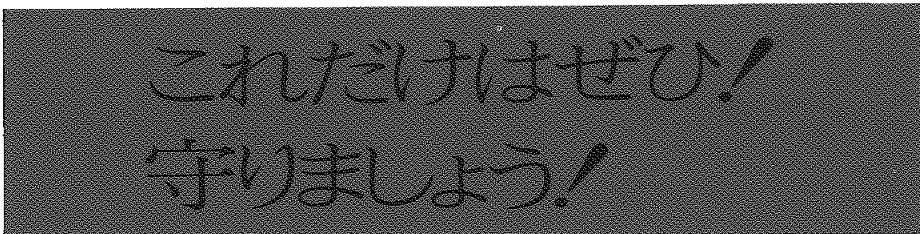
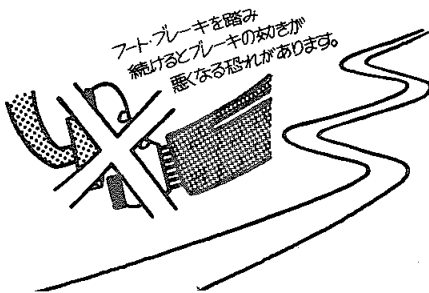


腹の位置にかけると万が一のとき身体にぐいにみ危険です。

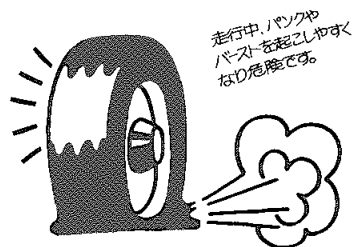
★ヘッド・レストの位置はヘッド・レストを頭の後方の位置になるようにしましょう。正しい位置にしないと危険防止に役立ちません。(ヘッド・レストを正しい位置にの項目参照)



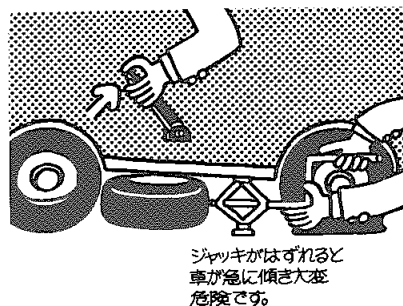
★長い坂道を下る場合はエンジン・ブレーキを活用しましょう。(ブレーキ、クラッチの使いかたの項目参照)



★タイヤは  
1. 走行前に必ず空気圧を点検しましょう。(タイヤの空気圧の項目参照)  
2. 摩耗して溝が浅くなったら取り替えます。(タイヤの溝の深さの項目参照)

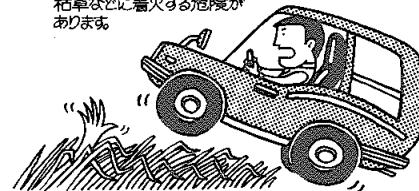


★ジャッキを使用するときは所定の位置に確実にセットしましょう。輪止め、パーキング・ブレーキを忘れずに。(パンクの処置の項目参照)



★駐停車するときは  
1. 枯草など燃えやすいものの付近や上に車を乗り入れたり、駐停車しないでください。

排気管付近はかなり高い温度に達するので、万が一の場合、枯草などに着火する危険があります。



★注意  
やむを得ず枯草などの中に入り、駐停車する場合は

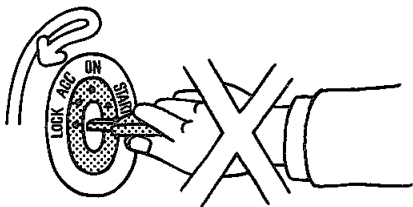
- (1) エンジンを必ず止めてください。
- (2) 走行する前に枯草などの燃えやすいものが、排気管に巻き付いたりしていないか点検してください。
2. 車庫内に車を止めるときは排気管の後方に紙、布、ムシロ、油脂、樹脂製品、古タイヤなどの燃えやすいものを置かないでください。  
また、木材、ベニヤ板などが後方にある場合は必ず車両後端から30cm以上離れていることを確認してください。排気ガスによって変色や変形したり着火する危険があります。
3. 密閉した車庫内などで、エンジンをかけたままにしないでください。

★走行中エンジン・スイッチを切らない  
ください。

ブレーキ・ブースターが作用しないので、  
ブレーキの効きが悪くなります。

★エンジンを停止して移動する場合は  
(けん引される場合など)

1. エンジン・スイッチを一度ONにして  
からACCの位置にしましょう。  
(エンジン・スイッチの項目参照)



走行中はキーを絶対にロックの位置に  
回さないでください。危険です。

2. ブレーキ・ブースターは作動しません  
ので通常より大きな踏力が必要です。

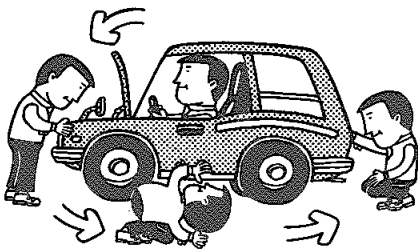
★適切な暖機運転をしましょう。

エンジンが冷えているときは、出力の低  
下、走行性能の悪化など、車本来の性能が  
十分に発揮できません。

暖機方法は“エンジンを始動するには”の  
項を参照してください。

★仕業点検は

故障を未然に防ぐため、必ず行ないまし  
ょう。(仕業点検の項目参照)



★定期点検は

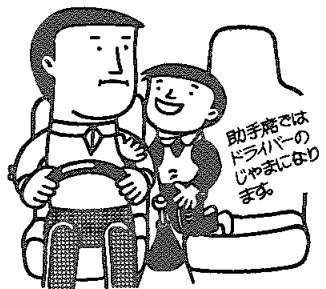
法令でも定められていますので整備手帳  
に基づいて必ず行ないましょう。

車の性能を維持するため、  
大切なことです。

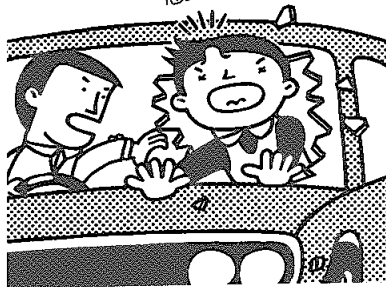


## お子様を乗せる ときは

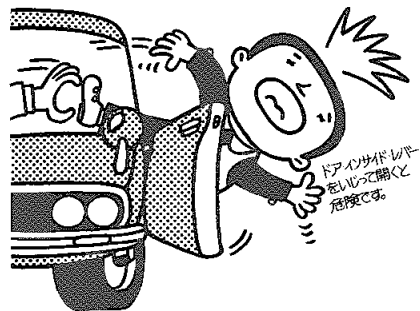
★なるべくおとなと一緒にリヤ・シート  
にすわらせましょう。



万一のとき放り出される  
心遣いがあります。



★ドアのロックを確実にしましょう。



ロックをすれば、ドア・インサイド・ハンドル  
をいじっても、ドアは開きません。

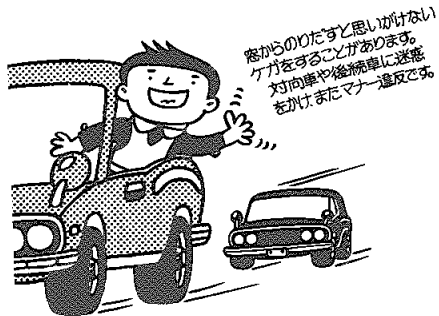
★必ずおとながドアの開閉をしましょう。



★車から離れるときは、お子様を一緒に  
連れて行きましょう。



★窓から顔や手などを出させないように  
しましょう。

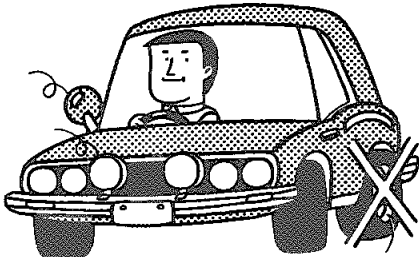


## 故障を防ぐために

### ★車に装着する部品は

車の構造に適した純正部品を使用ましよう。

特に車の走行に関連するところにはメーカーが運輸省に届出をした指定の部品以外は使用しないでください。

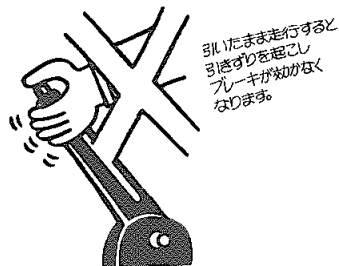


車の性能や機能に適さない部品を装着すると  
思いがけない事故が発生する  
場合があります。

### ★パーキング・ブレーキ・レバーは

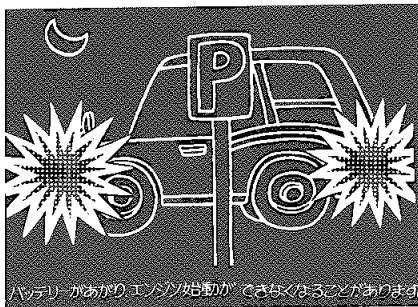
走行する前に必ず確実にもとの位置ま  
でもどし、ブレーキ・ウォーニング・ランプ  
が消灯するのを確かめてください。

(パーキング・ブレーキ・レバーについての  
項目参照)



### ★バッテリーは

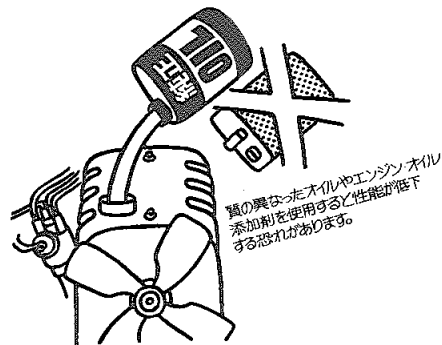
完全充電でもエンジンを停止してランプ  
類を使用すると消耗が激しいものです。



### ★エンジン・オイルの補給は

同品質か、それ以上のオイルを使用ま  
しょう。

(トヨタ純正キャッスル製品の項目参照)



### ★ブレーキ、クラッチ・フルードを補給 するときは

同品質、同銘柄のフルードを必ず使いま  
しょう。なお、タンク内にゴミがはいら  
ないように十分注意しましょう。

(トヨタ純正キャッスル製品の項目参照)



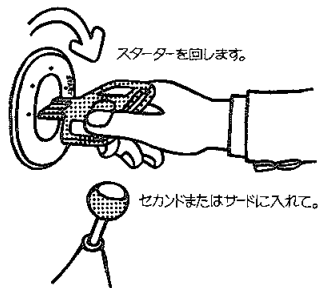
# 万一のときは——

★エンジンを始動できなくなったときは

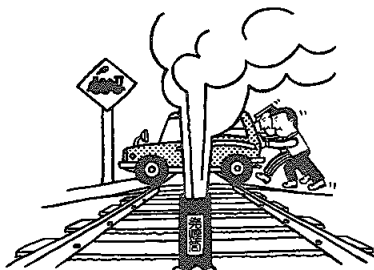
1. 付近に人がいる場合は安全な場所まで押してもらってください。



2. 踏み切りなどで、急を要するときは、スターターで抜け出してください。ギヤをセカンドまたはサードに入れ、スターターを回します。このときクラッチから足を離しておきます。また平坦路の場合は、トップにすると早く抜け出せます。



3. 踏み切りなどで抜け出せない時、列車が来そうになったら保安炎筒で合図してください。

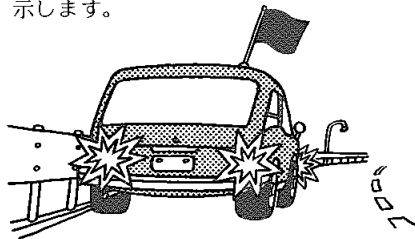


★高速走行中、パンクやバースト(タイヤの空気が急に抜けること)したとき

ハンドルをしっかりとって急ブレーキは踏まないようにしましょう。急ブレーキを踏むとハンドルを強くとられ、車が横転することがあります。

★故障したら

車を路肩に寄せハザード・ウォーニング・ランプを点滅させるか、または故障車とわかるように赤旗などを目につくよう表示します。



★遠出して故障し、なおせないときは整備手帳のサービス網をご覧になって、最寄りの取り扱い販売店へ連絡しましょう。